

オススメ絵本(1~2歳向け)

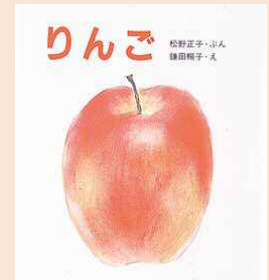
『しろくまちゃんのほっとけーき』 わかやまけん／作 こぐま社

しろくまちゃんがおかあさんといっしょにホットケーキをつくります。
卵を割って、牛乳を入れて…。声に出して読んでいくとホットケーキが本当にできあがって、甘いにおいがただよってきそうな楽しくておいしい絵本です。



『りんご』 松野正子／ぶん 鎌田暢子／え 童心社

あかいりんご、きいろりんご、ピンクのりんご。
かわをむいたらみんなしろりんご。
切って、しんをとって、お皿にいっぱいりんご。
みんなで食べよう。おいしいりんご。
大きなりんごやみんなが笑顔でりんごを食べる様子がいきいきと描かれた絵本。



『おんなじおんなじ』 多田ヒロシ／作 こぐま社

ぶうとぴよんは靴も同じ、帽子も同じ。
友達と同じものを持っているうれしさ、
同じことをする喜び、でも全部同じじゃつまらない、
そんな子どもたちを描きます。
おんなじ、ちがうということに



『きんぎょがにげた』 五味太郎／作 福音館書店

金魚鉢から逃げ出した金魚が、家の中のいろいろなものに隠れます。
「どこにいるかわかるかな」「おやまたにげた」
「こんどはどこ」の繰り返し。
子どもたちの大好きな絵さがしの絵本です。



『ぴょーん』 まつおかたつひで／作・絵 ポプラ社

かえるが、ぴょーん。いぬがぴよよーん。
ばったが、ぴょーん。
にわとりとひよこが 親子でぴょーん。
いろいろな生き物が次々とびはねます。
繰り返しが楽しい絵本。



『あがりめさがりめ』 いまきみち／作 福音館書店

男の子が「あがりめさがりめ」をすると…？
女の子が「いないいないばあ」をすると…？
「あがりめさがりめ」遊びと「いないいないばあ」遊び、
そして2人の子どもの 変身遊びの絵本です。



『ぎゅっ』 ジェズ・オールバラ／作・絵 徳間書店

森の中で動物たちがみんな「ぎゅっ」としているのを見
た子ぎるのジョジョくんはすっかりママが
恋しくなっていました。
動物たちの幸せそうな顔に、大人も子どもも
思わずぎゅっとしたくなる絵本です。



『そらはだかんぼ！』 五味太郎／作 偕成社

ライオンくんが「おふろにはいりなさい！」といわれます。
はだかんぼのライオンがはだかんぼになるなんておかしいぞ…？
おふろに入るのが楽しくなる、ゆかいな男の子のおはなしです。



『ころころころ』 元永定正／作 福音館書店

小さくていろいろな色の玉がころころ転がっていきます。
坂道や階段を上がったたり下がったり。
「ころころ」という言葉の繰り返しと
美しい色の玉の絵が、あかちゃんの心に響きます。



『おひさまあはは』 前川かずお／作 こぐま社

「おひさまがあはは」「こいぬがあはは」
みんなが「あはは」と笑っています。
声に出して読んでいくと、大人も子どもも
自然と笑顔になり、元気が出てくる絵本です。



『かばくん』 岸田衿子／さく 中谷千代子／え 福音館書店

動物園のかばくんの1日をユーモアのある短い文と
美しい絵で描いた絵本です。
まるで本当に動物園にいるかのような気持ちになり、
かばくンを身近に感じられます。



『ねないこだれだ』 せなけいこ／さく・え 福音館書店

夜になっても寝るのがいやで、9時を過ぎて
遊んでいる小さな女の子。こんな時間に起きているのはだれだ？
おばけがどこかへ連れていってしまうよ。
お子さんと一緒にドキドキしながら読める絵本です。



『こんにちは』 渡辺茂男／文 大友康夫／絵 福音館書店

くまくんはみんなにちゃんと「こんにちは」とあいさつができます。
おはなさんにもすすめさんにもぎゅうにゅうやさんにも…。
くまくんのしぐさや表情がとても愛らしく、
あいさつされるおとなたちのくまくんに
対する姿も、心あたたまります。



『はらぺこあおむし』 エリック・カール／作 もりひさし／訳 偕成社

くいしんぼうのあおむしは、毎日もりもりと
何でも食べ続け…。
小さなあおむしが美しい蝶に成長するまでを描きます。
穴あきのしかけが楽しい絵本です。



『ありのあちち』 つちはしとしこ／さく 福音館書店

「なにかおいしいものがありそうだ」と台所にやってきたちいさなあり。

テーブルの上のバナナの滑り台で遊んだり、せんべいやビスケットをつまみぐい。そしてしゅうしゅう音のする方へ近づいていきますが…。好奇心いっぱいのありの冒険を描きます。



『はけたよはけたよ』 神沢利子／文 西巻茅子／絵 偕成社

ひとりでパンツがはけないたつくん。パンツをはかずに外へとび出したら動物たちにしっぽのないつるつるのおしりを笑われてしまいます。どうしたら上手にパンツをはけるのかな。

何でも一人でやろうという意欲が盛んな2歳終わり頃のお子さんにおすすめ。



『とっとこととこ』 まついのりこ／さく 童心社

ねこさんがくつをはいて、とっとこととこ。

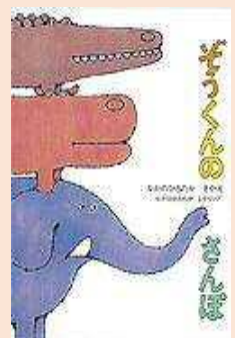
ありさんがくつをはいて、とっとこととこ。

「とっとこととこ」という繰り返言葉にあかちゃんは大喜び。歩き始めて、自分の足で歩くことが楽しくて仕方がないあかちゃんにぴったりです。



『ぞうくんのさんぽ』 なかのひろたか／作・絵 福音館書店

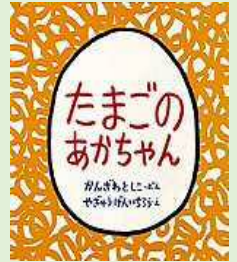
散歩にでかけたぞうくんは途中で出会ったかばくん、わにくん、かめくを背中にのせてどんどん歩いていきますが、重さに耐えかね、よろめいて池の中にどっぽーん。あかちゃんはこのゆかいな散歩に大喜びです。



『たまごのあかちゃん』

かんざわとしこ／ぶん やぎゅうげんいちろう／え 福音館書店

「たまごのなかでかくれんぼしてるあかちゃんはだあれ？
でておいでよ」と呼びかけると、卵の中から次々と
あかちゃんが出てきます。にわとりのあかちゃん、
かめのあかちゃん、へびのあかちゃん…。
いろんなあかちゃんが登場する楽しい絵本。



『ザザのちいさいおとうと』

ルーシー・カズンズ／作 五味太郎／訳 偕成社

あかちゃんが生まれて、パパやママは忙しくて
ぼくのことは後回し。でもあかちゃんをだっこしたり
遊んであげたりして、かわいいなって思った。
きょうだいが生まれたときの子どもの気持ちを描いた絵本。

